

Nyonyum 4号

By JICA-VOLUNTEER DAISAKU TAKAGI



任地での協力隊活動『職種・体育』の一コマを紹介

私は、『体育』という職種(協力隊活動には約190の職種がある)で、スパイリエン中高校(第3号で紹介)に配属されています。学校・管轄する教育省からは、以下の協力・支援をお願いされました。

- 1) 『中学校体育科指導書』(2019年に策定)を活用し、生徒が運動の楽しさを味わえるような授業を提案する
- 2) 授業実践、研修会への参加を通して、教員への指導方法(特に体操やダンス)の助言、授業の質の向上を目指すための技術指導を行う
- 3) 配属先周辺の学校を巡回し、体育教員へ指導方法を助言する

カンボジアで、体育の授業が取り入れられたのが、小学校 2006 年、中学校 2016 年。体育の授業を一度も経験したことのない先生方が授業を教えています。教員の数も不足しており、先生方の育成が急務となっています。

そして、現在、中学校 1 年生 11 クラスの体育の授業を週 2 時間ずつ担当しています。授業での生徒数は、約30~80人。バスケットボール4個、マット2枚など、限られた設備や道具の中でも、**生徒の意欲と笑顔を引き出し、かつ現地の先生方が「面白そう」「これならできそう」と感じてくれるような授業づくり**を心掛け、思考錯誤の日々を送っています。

【私の1日(月~土)】

- 6:15~ 起床・準備
- 7:30 学校到着
- 8:05~10:55 授業
- 11:00~14:00 帰宅・昼食・(昼寝)
- 買い物・語学学習など
- 14:05~16:55 授業
- 17:00~ 帰宅・自由時間・夕食
- 22:30 就寝

愛車(日本からの中古車を購入)。学校まで5分。



職員室はありません。授業がない時は、中庭のベンチで過ごしています。

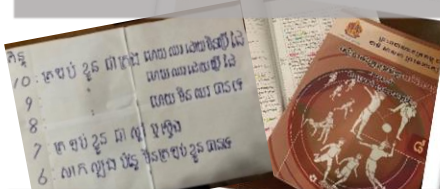


現地の言葉で要点をうまく伝えられないこともあり、生徒が困惑することや、思い描いた学習活動ができないこともしばしば。それでも、子どもたち、や先生方との信頼関係の構築を大切に、できるところから、一歩ずつと思いを進めています。

赴任2日目にして、一人で授業を担当。生徒に助けられました！ホッと一息、授業後の忘れられない一枚！



学生時代に体育を経験したことがない先生方にとって、この「指導書」の内容を理解することは一苦労…



簡単な評価規準を作成し、「試験」を実施。もちろん生徒は初体験。目標ができモチベーションが上がりました。

定期的に、日本の NGO と、現地教育省の方が行っている市内学校の授業視察に帯同させて頂いています。



『バスケットボール』でのジグザグドリブルの一コマ。コーンの代わりに使っているのは？



『マット』の経験がない生徒が多数。恐怖を感じてやりたがらない女子生徒を突き動かしたのは、「試験の実施」と「励ましの声」でした。



日本人が教える『クメール体操』。生徒同士の学び合いを大切に授業を展開。一斉授業に慣れている生徒は、新たな学びの形式に、最初は困惑…

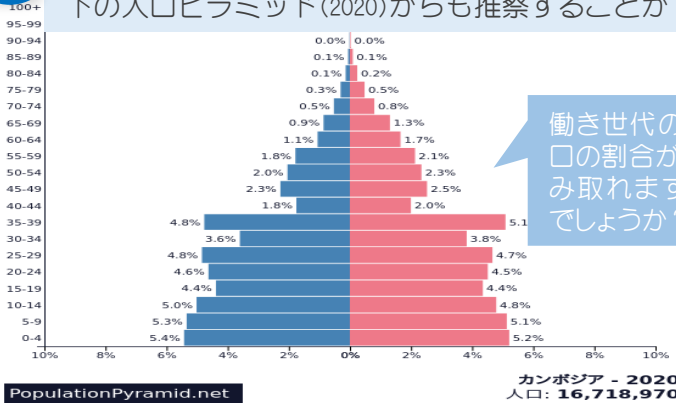
中学、高校の就学率が低いのはどうして？

疑問 小学校の就学率が 98.1% という高い数値であるにもかかわらず、中学校 60.7%、高校 32.2% と、進学・進級に伴い退学・ドロップアウトしてしまう子どもが多くなり、大幅に就学率が減少しています。その背景には、どのような課題があるのでしょうか？

国名	小学校就学率	中学校就学率	高校就学率
カンボジア(2020)	98.1%	60.7%	32.2%
日本(2021)	99.6%	99.6%	98.8%

* 就学率: 留年生徒などを含まず、同一年齢集団の学校に通えている割合
* 第3号とは異なる最新のデータを使用

解説 まず、カンボジアの教育の課題について語る際に、どうしても忘れてはならない出来事があります。以下の人口ピラミッド(2020)からも推察することができるのですが、その出来事とは何なのでしょう？



答えは、1975～1979年に政権を担っていたクメールルージュ(カンボジア共産党)の指導者ポル・ポトによる『国民の大虐殺』です。約4年間で、当時の人口の約3分1にあたる約150～200万人の人々が犠牲となったと言われています。

ポル・ポトは、文明を捨て誰もが平等に暮らせる原始時代のような社会の実現を目指して、都会に住む人々は農村に移住させ、特に**教員(97%が殺害)**、大学教授、医者といった知識のある人々を徹底的に殺害。さらには宗教を禁じ、寺院を破壊し、**教育を否定し学校施設をつぶし、教科書や教材は廃棄**、病院も閉じ、貨幣もなくなりました。

このような政策の結果、社会インフラや経済は跡形もなく破壊され、国を支える人材も消失、国家として再起不能に陥ってしまったのです。

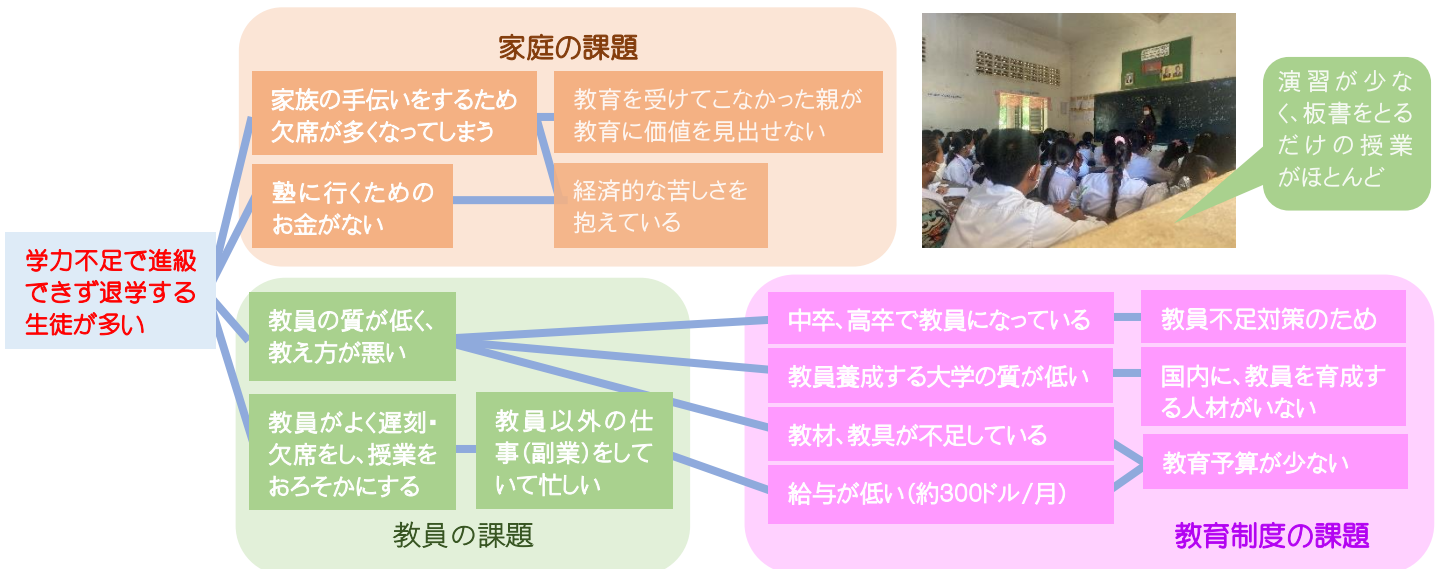
Youtube チャンネル
【世界見聞録】
[ポル・ポトの大虐殺]



詳細を知りたくなった方向けに！

その後、学校、教科書、人材、全てを失ってしまったカンボジアの教育システムは、どのように再起をしてくのでしょうか。その点を想像しながら、今日の就学率の減少の背景に隠れている課題を考えてみましょう。

【今日のカンボジアの教育における課題の一例～様々な課題が複雑に絡み合っている】



現在、カンボジアに派遣されている協力隊員 18 名のうち、教育分野の隊員が 11 名。職種は、小学校教育(算数、理科、体育、音楽・図工など)、理科教育、体育など。これらの教育課題の解決に少しでも貢献できるよう、日々活動を行っています。